

お世話になります。

株式会社アイランド・ブレインです。

日々の営業活動で活用できるノウハウを  
このメルマガでお伝えできればと思います。

\*\*\* 当社代表の鈴木が書籍を出版しました！ \*\*\*

「人なし金なし時間なしに活路！ 中小企業の営業代行サービス活用術」

<https://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/486367693X/honnoinfo-22/>

このメールは今まで弊社のメンバーと名刺交換をして  
頂いた方や、お申し込みを頂いた方に送信をして  
おりますが、配信停止をご希望される方はお手数ですが  
下記アドレスまでご連絡下さい。

配信停止はこちらまで →

<https://q.bmv.jp/bm/p/f/tf.php?id=islandbrain&task=cancel>

（お手数をおかけしますが、  
入力フォームにメールアドレスを入力後、  
解除を選択していただければと思います。）

---

◆◇ 営業代行サービス成功事例共有 VOL. 698 ◇◆

---

今週からの IB メールマガジンも、  
管理者の「考える」という仕事について  
紹介をしていきたいと思います。

○ 「考える」とは頭を使うことである

考えることは頭を使って行うことです。

では、考えることの反対は何でしょうか？

体を使うことだと思われるかもしれませんが、  
実はそうではありません。

これは多くの研究や文献などが教えていることですが、  
考えることと体を使うことは一体であるとされています。

生産性の高い考える仕事をしたいのならば、  
体を動かした方が良いでしょう。

もちろん、思考が回らないくらいのハードな運動はダメですが、

- ・軽いストレッチをしながら考える
- ・社内や社外を散歩しながら考える
- ・身振り手振りを交えて考える

など、体を動かして頭を働きやすくすることが  
考える仕事の生産性を高めるコツになります。

考える仕事をしようとして、  
机に座ってパソコンに向き合いじっと動かない人がいますが、  
これは考える仕事ができる体勢ではありません。  
体が動かないと頭が働かず良いアイデアが浮かばないのです。

※考えたことを図化したり明文化したりするためには、  
パソコンに向かって作業をしなければいけなくなりますが、  
考える仕事そのものをする時は、  
体は自由度を持っていた方が良いでしょうということになります。

管理者は考えることが仕事の1つです。  
自らの頭がどうしたら有効に働くようにできているのか、  
その基本的なことは知っていると、  
考える仕事の精度を高めることに役立ちます。

(次週へ続く・・・)

営業マネージャーの役割とは？

営業マネージャーの仕事と役割について記載した「営業の教科書」はこちら↓

<https://www.islandbrain.co.jp/blog/role-of-sales-manager/>



営業代行のご相談は下記までご連絡下さい。

株式会社アイランド・ブレイン

MAIL [info@islandbrain.co.jp](mailto:info@islandbrain.co.jp)

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-950-2320（名古屋）

0120-252-764（東京）

0120-252-764（大阪）



---

このメールマガジンは、株式会社アイランド・ブレインの  
メンバーと名刺交換をしていただいた方に配信をしています。

お心当たりのない方、配信停止をご希望される方は  
お手数ですが下記メールアドレスまでご連絡下さい。

配信停止はこちらまで →

<https://q.bmv.jp/bm/p/f/tf.php?id=islandbrain&task=cancel>

（お手数をおかけしますが、  
入力フォームにメールアドレスを入力後、  
解除を選択していただければと思います。）

【発行元 お問い合わせ先】

株式会社アイランド・ブレイン

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-4-6 桜通大津第一生命ビル 3F

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F

〒542-0086 大阪市中区西心斎橋 2-9-38 おおきに心斎橋 LANDMARK ビル 7F

MAIL [info@islandbrain.co.jp](mailto:info@islandbrain.co.jp)

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-950-2320（名古屋）

0120-252-764（東京）

0120-252-764（大阪）

---

